

## 炭酸ランタン水和物（ホスレノール）顆粒の有用性

医療法人衆和会 長崎腎病院

○田賀農 恵，宮崎沙弥香，久保純子，丸山祐子，矢野未来，江藤りか，  
宮崎健一，李 嘉明，原田孝司，船越 哲

### 【背景】

炭酸ランタンの剤型はチュアブル錠であり、噛み砕きの個人差による効果の差異やアドヒアランスの面からも効果の判定が難しかった。

### 【目的】

炭酸ランタンの剤型変化に伴う服用法や患者の受け入れ、血清データの変化について検討する。

### 【対象・方法】

当院外来維持透析患者で、炭酸ランタンチュアブル錠を内服中の患者 110 名を対象とし、チュアブル錠内服時-同量の顆粒への移行前後の副作用、血清データ、アドヒアランスについて検討した。

### 【結果】

炭酸ランタンチュアブル錠内服中の平均噛み砕き数は 11 回であり、「そのまま飲む」患者も 3 名みられた。細粒への切り替えに同意した患者は 110 名中 98 名であり、チュアブル錠を好む理由は、全例「食事と一緒に咀嚼できるから」であった。細粒に変更した後、腹満・便秘は平均 27.3%から平均 9.1%と有意に減少し、血清リン値は  $7.1 \pm 3.0 \text{mg/dL}$  から  $6.6 \pm 3.7 \text{mg/dL}$  に減少する傾向にあったが有意差はなかった。一方、患者申告による内服率は、チュアブル錠 88%・細粒 100%と有意に細粒で高かった。

### 【考察】

ホスレノール細粒は食事時の服用を推奨した場合、チュアブル錠に比べ、アドヒアランスが高く、結果的に血清リン低下に繋がっている可能性がある。